

# 地方公共団体等向けの研修（座学＋演習）の実施例

- 地方公共団体等の職員向け研修については、様々な要望にオーダーメイドで対応。（半日、1日、2日コースなど）
- 座学形式だけでなく、グループワーク（演習）により、実際の業務から支障事例を発見し、提案化するような研修も行っている。

## ＜研修（座学＋グループワーク）の実施例＞

事前課題		事前検討シートの作成 （日々の業務の中で感じている課題・支障事例について、研修受講者が事前に検討）
座学	約60分	内閣府講師による講義（成果事例動画の視聴、質疑応答含む） （地方分権改革の考え方、提案募集方式の制度概要、実現提案の事例、提案検討のポイントなど）
グループワーク（演習）	約15分	事前課題（支障事例）の班別共有と選択 （班別に分かれ（1班あたり4～5名）、事前課題で見つけた支障事例について共有・議論。その中から提案募集方式による提案に繋がりそうな事例を2～3件選択。）
	約60分	支障事例の解決策の検討、最終提出シートの作成 （各班が選択した支障事例を明確化し、支障を解決するための解決策、期待される効果（住民サービスの向上、地域活性化、業務効率化等）を整理し、最終提出シートを作成。）
	約30～60分	提案検討事例の発表・質疑応答、意見交換 （最終提出シートを基に発表）
	約10分	内閣府講師からの講評

### グループワークにおける 疑似提案検討のポイント

#### ★提案の対象・過去の提案状況の確認

- ・提案募集方式の対象になるか確認
- ・提案募集方式データベースを用いて、過去に同様の提案がないか確認

#### ★支障事例の明確化（具体の提案検討）

- ・支障事例、求める措置、制度改正効果を可能な限り具体化

#### ★実現の可能性が高いと考えられる提案の特徴

- ・住民サービスの向上等につながる提案
- ・支障事例や制度改正効果が具体的に明記されている提案

※班内議論により、支障事例や制度改正効果の説得力を強化！

※研修内容・時間数については、お気軽にご相談ください。

（上記時間は、できればいただきたい時間の目安ですので、各団体のご要望に応じ、柔軟に対応します。）